

BioNa[®] / Bone Navi[®] Systemを使いこなす

能動的な利用でシステムを「活かす」

Bone Navi[®] Systemの特長のひとつに「自由度が高いこと」があげられます。たとえば、アンカーを使ってガイドを固定したい、サイナス用ガイドが欲しい…といった「こんな設計は可能だろうか？」の声に柔軟に応えることができます。

customer feedback システムを活かすポイント

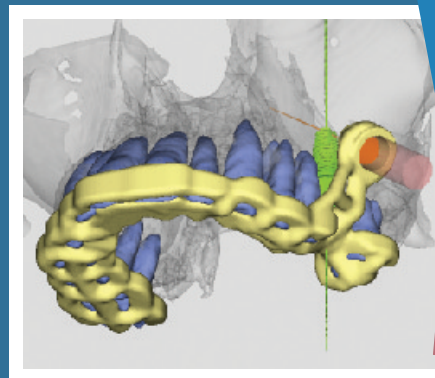


1. 最初から正確なシリコン印象を採得する。CT撮影用テンプレートとガイドを同一模型で作製することができるため、より正確性が増す。
2. シミュレーションソフトの操作の習熟はリモートサポートサービスを活用する。
3. 顎骨模型を用いて、起こり得る問題を事前に把握する。
4. 症例における課題に対して、自分なりの工夫をガイドに加える。
5. 症例ごとの工夫をフィードバックしてガイドサージェリーを改善していく。
6. 最初の症例は片側中間欠損を選び、可能であれば経験者に相談する。

BioNa[®] / Bone Navi[®] Systemの優位性

- ◎ すべてのインプラントシステムに対応する。
- ◎ 先生がお持ちのドリルに合わせられる。
- ◎ 精密な石膏模型合成。
- ◎ 模型粘膜面情報を見ることができる。
- ◎ ガイド設計の自由度が大きい。
- ◎ 担当営業マンに相談できる。

東京都江東区 大島歯科医院様ご症例
弊社取扱いのSLAを利用したサイナス用ガイド ▶



お気軽に
お声掛け
ください!